

学校広報紙

浦安



東海大学付属浦安高等学校中等部
東海大学付属浦安高等学校

電話：047-351-2371

URL：<http://www.urayasu.tokai.ed.jp/>

編集・発行：東海大学付属浦安高等学校・中等部

2011年度にあたって

校長 小坂 秀王



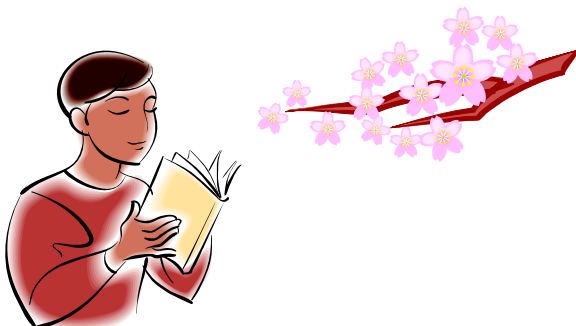
東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この未曾有の大災害について、私たちはどのように受け止め、そして未来を切り開いていくのがよいのでしょうか。しだいに明らかになってきたことは、社会の仕組みや私たちの生き方も変えなければならないということです。

本校でも防災や節電が課題となっています。生徒たちには社会とのつながりを大切にする意識やボランティア活動への意欲を育ててほしいと期待しています。

4月8日に始業式を行い、中等部433名、高校1228名の生徒たちが元気に学校生活をスタートさせました。「学習と部活動の両立」を目指して、はつらつとした活動を期待したいと思います。

今年度は、新たに「全校朝読書」に取り組みます。8時35分からの10分間、中等部、高校ともに朝読書を実施します。本と出会い、自分をつめ、心を育ててほしいと願っています。



各学年主任より

年度初めにあたり、中高の各学年主任よりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

中等部1学年主任 金田 太郎

ご入学おめでとうございます。ご心配をおかけした入学式も予定通り実施することができました。いよいよ東海大学付属浦安高等学校・中等部での6年間がスタートします。生徒たちはまだまだ不慣れな中、早く学校に溶け込もうと頑張っています。中等部1年生は、今後の6年間の土台をつくる学年です。私たち中等部1学年教員一同、生徒と共に歩み、成長していくなかで、生徒たちがしっかりとした学校生活を送れるよう努力いたします。保護者の皆様にも、ご協力をよろしくお願いいたします。

中等部2学年主任 増田 博康

緊張してスタートした中学校生活も1年が過ぎ、2年めがいよいよ始まりました。慣れからくるゆるみや、たるみが出て様々な失敗が出やすい学年といわれています。しかし、逆に余分な緊張感が取れ、学習や部活動、行事などで、力が存分に発揮できますので、1年生のお手本になれる学年にしていきたいと思います。

また中学校時代は友人関係で悩むことも多いと思いますが、友人関係の中で学ぶことや得られることが大変多い時期です。たくさんの経験を通して成長していった欲しいと思います。学年団一致団結し頑張りたいと思います。

東北地方太平洋沖地震の被害にあわれた皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。また、液状化現象による被害の大きかった浦安の皆様には、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

こういう不安なときだからこそ、私たちは自分たちにできることを精一杯頑張り、明日へのエネルギーを分かち合いたいと思います。そして生徒たちには、勉強や部活や生徒会活動などを通して自己を高め、人のために何かができる生徒に育てほしいと願っています。

学年団一同、よろしく願いいたします。



高等学校1学年主任 片野 賢哉

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。これから高校生活がスタートします。皆さんは恐らく不安と期待でいっぱいだと思います。さて、1学年では皆さんが充実した高校生活が送れるよう次の4つを学年の目標にします。

- ① 学校生活に慣れさせるとともに基本的な生活習慣を身につけさせる。
- ② 生徒相互の人間関係を良好なものにし、いじめや差別のない生徒集団をつくりあげていく。
- ③ 学習への意欲を喚起し、学習習慣の確立を目指す。
- ④ 部活動と学習の両立を目指し、メリハリのある学校生活が送れるようにする。

最初は戸惑うことも多いかと思いますが、自分からチャレンジすることで大きく育ててほしいと願っています。そして、自分の夢を実現させてください。期待しています。

新クラスになってまだクラスの雰囲気になれない感じが感じられますが、徐々に表情が和らぎ笑顔が見られる生徒が多くなってきました。さて、3月11日に起こりました東日本大震災で多くの方が亡くなり、現在も多くの方々が行方不明です。またここ浦安も液状化の影響で上下水道に支障が出たり家が倒壊したりしている中、1年次に学年が掲げた「絆」という言葉が叫ばれるようになりました。今年度も「絆」という言葉をキーワードに学年が一致団結して頑張っていきたいと思っております。

今年度は2学年の方針を以下のように掲げました。

①けじめのある行動が取れる生徒の育成

集会、朝礼時のきちんとした聞く態度、姿勢、場の雰囲気を感じ取り、相手の気持ちに立ったものの考え方の育成を図る。

②進路学習の強化

学園の進路の早期化に伴い、総合学習の時間等を利用して早い時期から自己の進路や職業選択を考え模索する。

③学習習慣の確立

家庭学習を習慣化し、基礎学力の定着を目指す。

④自立性、自主性、協調性の育成

修学旅行の事前学習を充実させ、平和学習や自然学習への取り組みを強化し、生徒自ら学習する環境を整える。

生徒一人一人の個性を伸ばし、集団の中での自己を鍛え、けじめのある学校生活を過ごせるよう学年団を挙げて指導していきます。ご家庭でのご協力もよろしくお願い致します。



緊張した面持ちで、本校で学び始めた2年前に比べると、男子生徒はたくましさを増し、女子生徒は相手に対する優しい心遣いが自然とできるようになりました。そんな姿を見られるだけで心温まります。新年度始業式の学校長講話で未曾有の東日本大震災の話にふれたとき、一人の男子生徒が「その話は重たく辛いな」と小さい声でつぶやいていました。気持ちの優しいその生徒にとっては、連日報道されるニュースをみて心を痛めていたんだと思います。彼らの若い力が今の社会には必要です。これからも自分の将来に対して若者らしい夢を持ち、その実現のために計画性をもって対処してもらいたいと思っています。学年目標の中に「最高学年としての自覚に立ち、本校の模範となれるマナー意識を持たせる」があります。規則正しい生活習慣の確立はもちろんのこと、人任せにせず自分でできることを進んでできる生徒を育てていきます。

学校からのお知らせ

○日課の変更

朝読書が全校で実施されるのに伴い、今年度から日課が変更されました。毎朝、10分間の読書時間が確保され、落ち着いた雰囲気の中で1日のスタートが切れるようになりました。

内 容	時 間 帯
朝読書	8 : 3 5 ~ 8 : 4 5
SHR	8 : 4 5 ~ 8 : 5 5
1校時	9 : 0 0 ~ 9 : 5 0
2校時	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0
3校時	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
4校時	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0
昼休み	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 3 0
5校時	1 3 : 3 5 ~ 1 4 : 2 5
6校時	1 4 : 3 5 ~ 1 5 : 2 5
SHR	1 5 : 2 5 ~ 1 5 : 3 5

○人工芝グラウンドの復旧

昨年10月に完成したばかりの人工芝グラウンドに、液状化の影響により凹凸が現れてしまいました。この復旧工事に19日(火)から着手いたしますので、授業や部活動等に制限が加わりませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。



液状化で噴出した砂

生徒の活動

○ニュージーランド地震への義援金贈呈

ニュージーランド(NZ)で起きた地震に対する義援金を、中・高の生徒会が中心となって集めました。これを中等部のNZ英語研修の際、現地で手渡すはずだったのですが、東日本大震災の影響により中等部の研修が中止となったため、生徒会のメンバーが、NZ大使館に出向き、義援金をNZ特命全権大使に直接手渡しました。



高校生徒会長からNZ特命全権大使へ

○「東北関東大震災義援金」街頭募金

4月12日火曜日、浦安駅前にて「東北関東大震災義援金」街頭募金に参加しました。

千葉県共同募金浦安支会として浦安市社会福祉協議会が担っているもので、生徒会、軽音楽部、化学部、登山部、ボランティア同好会を中心に中等部生と高校生合わせて30人がボランティアの方々と共に活動をしました。

今後も9月まで、様々な部活動の生徒がこの活動を続けていく予定です。



浦安駅前での募金活動

学校行事

○入学式

東北関東大震災の影響による計画停電などの影響が心配されましたが、予定通り4月6日(水)に入学式を挙行することができました。例年よりも時間を短縮して行いましたが、中等部151名、高等学校462名の新入生は、緊張をしながらも期待に胸を膨らませ、新しい生活のスタートを切りました。



○着任式・始業式・対面式

4月8日(金)に2011年度前期始業式が実施されました。始業式に先立ち、校長先生から新しく本校に着任された先生方を紹介していただき、生徒が拍手で歓迎しました。

全校生徒1661名(中等部生433名、高等学校1228名)が初めて集合した前期始業式では、吹奏楽部の演奏にあわせ、建学の歌と校歌を全員で斉唱しました。校長先生からは新しい年度を迎える心構えや、今年度から全校生徒で始める朝読書のお話がありました。

対面式では新入生代表と在校生代表が壇上で握手を交わし、東海大浦安生として一緒に協力していくことを誓い合いました。



○SPPに5講座が採択される

本校は今年度も独立行政法人科学技術振興機構(JST)が主催する平成23年度「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」に5講座が採択されました。

平成23年度の第一次審査で採択されたテーマは、以下の5講座になります。

1. 南極を知る
2. 防災を科学する
3. 金属の科学史
4. 千葉の海～干潟と外洋～
5. 生きている数学～貯蓄型保険と数学～
(中等部で実施)